アメニティデザイン企業
Daiken

施工業者様用

施工説明書

ダイケン床収納43型　2×3尺タイプ

KH1112-226・KH1111-229

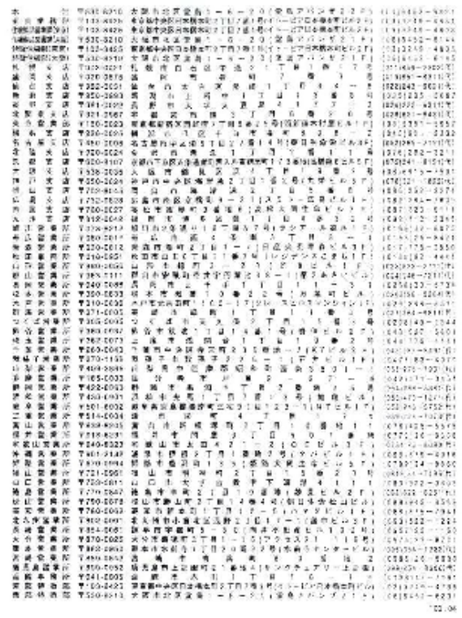
この施工説明書には、施工上重要な項目が記載されています。
施工の際によく読み、手順どおり正しく施工してください。

⚠警告　施工説明書本文に出てくる重要警告事項の部分は、施工する前に注意深く読み、よく理解してください。

大建工業株式会社

ご相談窓口

ご不明な点などは、下記のご相談窓口までお問い合わせください。



大建工業株式会社　〒530-0810　大阪市北区清建1-6-20 堂島アバンサ21F・22F
TEL 06-6452-6321（代表）

必ずお守りいただきたいこと

ダイケン床収納の型を長期間安全に施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下の事を必ずお守りください。

【安全にお使いいただくために】

★施工上のご注意

⚠注意

◇補強桟は、床板の木目に直角に取り付けてください。
（床板の継ぎが大きくなる事があります。）

◇フタ板は床板の裏に同梱の補強用合板を貼り、必ず補強してください。またその時フタ板は15㎜以上18㎜以下にしてください。

★ご使用上のご注意（お施主様にお伝えください。）

⚠警告

◇ご使用になられた後、フタは必ず閉めてください。
（フタが完全に納まっていない場合踏ってフタの上にのると、床収納の開口部に転落する事があります。）

◇お子様だけでご使用にならないでください。
（誤って床収納の開口部に転落すると危険です。）

◇シェルに登って遊ばないでください。
（シェルの中でふざけて踏んだり跳ねたりするとシェルがこわれて、ケガをする事があります。）

⚠注意

◇把手（回転把手）は、フタ開閉時以外は、必ず納めた状態でご使用ください。
（把手（回転把手）が出たままご使用になるとつまずいて怪我をする事があります。）

◇フタ開閉時には指ヅメにご注意ください。
（フタと外枠の間で指ヅメで怪我します。）

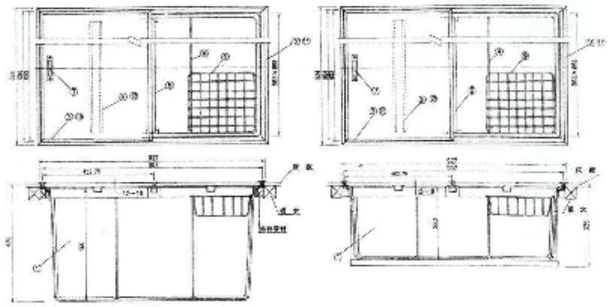
危険の定義とシンボルマーク

本取扱説明書では、【警告】【注意】を次のような定義で使用しています。

⚠警告　取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠注意　取扱を誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

1．製品寸法納まり図

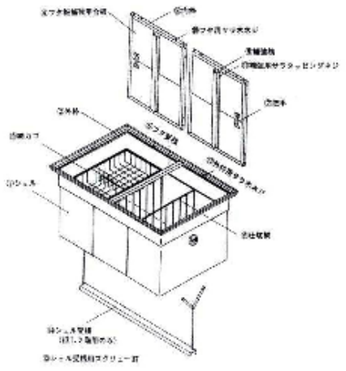


2．製品の種類と仕様

付属品中（　）は1台当たりの部品数を示す。

品　番	2×3尺タイプ 43型909ブロンズ（2扉用）	2×3尺タイプ 43型909ブロンズ
品番　ブロンズ	KH1112-226	KH1111-229
本体寸法（幅×奥行×深さ）㎜	927×624×325	624×624×458
シェル	プラスチック成形品	プラスチック成形品
枠	アルミ製	アルミ製
補強桟	鉄製	鉄製
付属部品	・網カゴ（2） ・仕切網（2） ・把手　（2） ・フタ板補強用合板（2） ・補強桟（2） ・フタ受桟（1） ・シェル受桟（1）	・網カゴ（2） ・仕切網（1） ・把手　（1） ・フタ板補強用合板（1） ・補強桟（1）
備考		

3．各部の名称



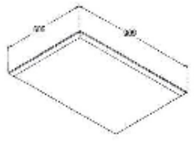
4．同梱部品表

施工前に確認してください。

名　称	仕　様	数量 K-H1112-226	数量 K-H1112-226	備　考
シェル	プラスチック成形品	1	1	
外枠	アルミ製	1	1	
内枠	アルミ製	2	2	
フタ板補強用合板	t25×588×438 合板	2	2	
補強桟	鉄（クロメートメッキ）	2	2	
フタ受桟	アルミ製	1	1	キャップ付き
把手	亜鉛ダイキャスト	2	2	ビスM4×L25　（2） 座金　（2） 樹脂ワッシャー　（2） ナット　（2） キャップ　（2） （　）は把手1ケに対して
仕切網	樹脂被覆鉄網	2	2	
手カン	樹脂被覆鉄線			
フタ受サラ木ネジ	3.8×12 ステンレス	4	4	フタ板固定用
外枠固定ネジ	4.8×32 ステンレス	6	6	外枠固定用
補強桟固定サラ木ネジ	3.8×32 鉄製（クロメート）	4	4	補強桟固定用
シェル受桟用ネジ	3.8×32 鉄製（クロメート）	4	4	シェル受桟固定用
小平座	内径φ8.5	4	4	受桟ボルト用
施工説明書		1	1	
取扱説明書		1	1	左記全部に相違ございません

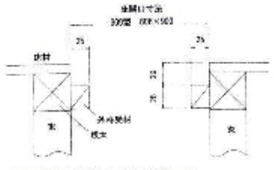
5．施工

①床に開口部を設け、穴のまわりに根太を取り付けてください。



②根太に添って外枠受材を取り付けてください。

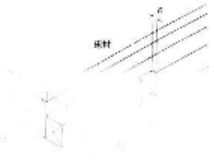
外枠受材は現場で手配してください。



断熱の根太を切断した場合は補強の為変を立ててください。

③外枠受材とシェル本体のツメがかみ合う部分を指示通り欠き取ってください。

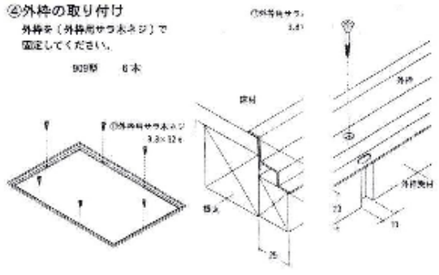
6ヶ所



④外枠の取り付け

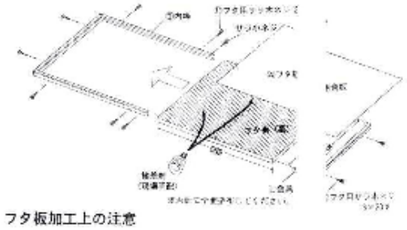
外枠を（外枠用サラ木ネジ）で固定してください。

909型　6本



⑤内枠とフタ板の組み立て

フタ板を588×438に切断し、フタ板補強用合板を裏貼り（L型金具）と（内枠）をサラ小ネジで固定し、フタ月（フタ板）をとめてください。



フタ板加工上の注意

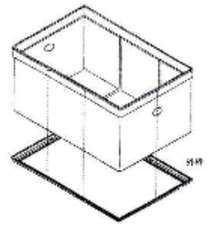
（2尺床板の場合）　（1.5尺

⚠注意　床板は必ず補強用合板を裏貼り[illegible]にしてください。合板を裏貼りしない[illegible]る場合があります。

⑥本体の取り付け

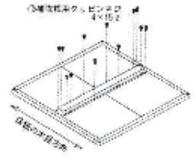
シェル本体のツメと外枠のハメコミを確認してください。

6ヶ所



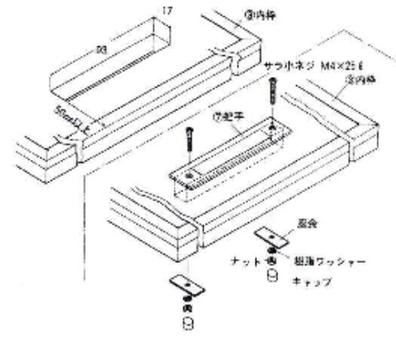
⑦補強桟の取り付け

フタのウラ側に補強桟を取り付けてください。
（フタ板のハギ合わせに直行する様取り付けてください。）

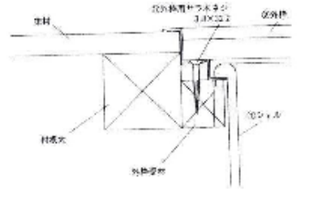


⚠注意　補強桟は、床板の木目に直角に取り付けてください。
（床板の継ぎが大きくなる事があります。）

⑧把手は使用方向に応じて位置を決め、縁から50㎜位はなして把手用の穴をあけ、把手を取り付けてください。

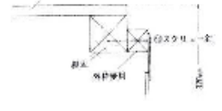


⑧シェルの取り付け



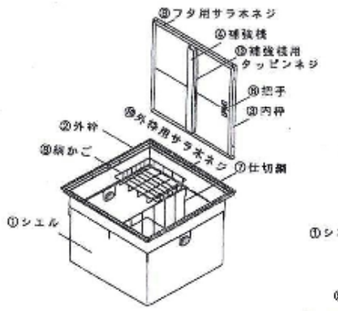
⑨シェル受桟の取り付け（2階用のみ）

2階には、図の様にシェル受桟を必ず取り付けてください。
シェル受桟の上面が床上面より、302㎜になる様羽子板ボルトを固定してください。

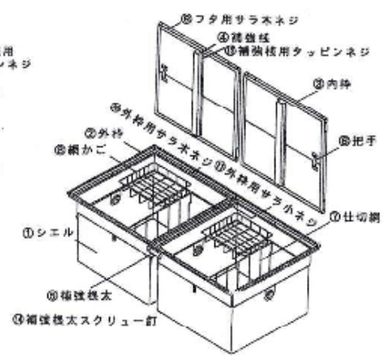


ご使用の方法

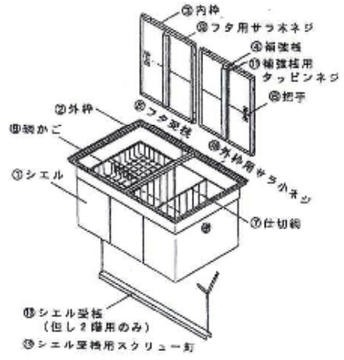
A．各部の名称



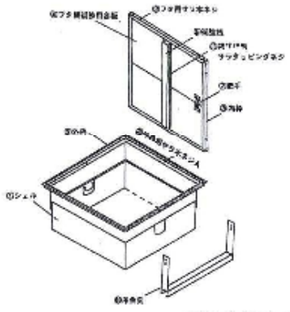
2×2尺タイプ1階用（深型）



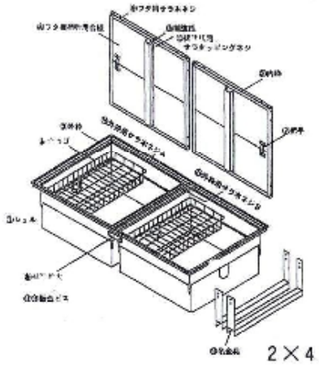
2×4尺タイプ1階用（深型）



2×3尺タイプ



2×2尺タイプ2階用（浅型）



2×4尺タイプ2階用（浅型）

B．お手入れの方法

プラスチック・金属の部分は水又は中性洗剤を十分に希釈した液体を浸した雑巾をよくしぼって拭いてください。

ご相談窓口

ご不明な点などは、下記のご相談窓口までお問い合わせください。

本　　社	〒530-8210	大阪市北区堂島1－6－20（堂島アバンザ22F）	磐梯営業所	〒371-0805	前橋市緑町1丁目11番8号	〒371-0805	前橋市緑町1丁目11番8号	〒371-0805	前橋市緑町1丁目11番8号